



講演会

香山 リカさん

(精神科医・立教大学教授)

第39回 2013年

2・11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会

「憲法の危機と“心の問題”」

講師：香山リカより 総選挙での自民党の大勝、改憲ムードの高まりの中、今や日本の平和憲法こそがわが国の衰退の元凶のように言う政治家さえ出現しています。改憲も現実のものとして迫りつつある中で、「なぜ人は憲法を変えようとするのか」について、政治や歴史の問題から少し離れて、私の専門である精神病理学、精神分析学的見地から考えてみたいと思います。いまの社会、人々の心はどうなっているのか。そして、私たちにできることは何なのか。ともに考える時間を持てれば、と願っています。

2013年 2月11日(月)
午後1時半(開場午後1時)
仙台市民会館 地階 展示室【入場無料】

- ◇午後1時10分から、苫米地サトロさん・宮城のうたごえの歌があります。早めにご来場下さい。
- ◇集会終了後(午後4時頃から)デモ行進を行います。ふるってご参加下さい。
- ◇託児を行います(費用は無料)。当日、受付にお申し出下さい。

主催：靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議

<http://www.ne.jp/asahi/grass/roots/211miyagi/index.htm>



講師●香山リカさん

精神科医。立教大学現代心理学部映像身体学科教授。1960年北海道生まれ。東京医科大学卒。豊富な臨床経験を生かして現代人の心の問題を中心にさまざまなメディアで発言を続けている。専門は精神病理学。著書に『若者の法則』（岩波新書）、『ぷちナショナリズム症候群』（中央公論新社）など多数。

なぜ？●「建国記念の日」に集会を開くわけ

2月11日は「建国記念の日」とされていますが、もともとは明治政府が2月11日を「紀元節」として祝日に定めたことから来ています。これは今から2600年以上前に、神武天皇が最初に天皇に即位した日ということですが、歴史的な根拠は全くありません。天皇を中心とした国家支配の正当性を内外に誇示するために明治政府が制定したもので、1948年7月には、「民主国家として生まれ変わった戦後の日本にふさわしくないもの」として廃止されました。しかし1967年、佐藤栄作内閣がこの日を再び「建国記念の日」として復活させたのです。現在の日本国憲法は国民主権を宣言しています。私たちの国は私たち国民全員のものであり、旧憲法が謳ったような、天皇が主権者であって国民はその下で生かしてもらっているというような国ではもはやありません。ですから、上で述べたような、天皇中心主義を復興させるような日を「建国記念の日」に定めることは、信教・思想・報道の自由を著しく損ねる恐れがあるのです。天皇中心の国家体制が犯した過ちについて歴史から学ぶなら、現在の「日本国」誕生の日は、人権・平和・民主主義をうたう日本国憲法施行日である「憲法記念日」こそふさわしいと考えます。

主催●靖国神社国家管理反対宮城県連絡会議

加盟団体：革新自治体をそだてる学者文化人の会・核兵器廃絶を願うキリスト者の会・カトリック正義と平和仙台協議会・河北新報労働組合・子どもと教科書みやぎネット21・司法反動化反対宮城県連絡会議・自由法曹団宮城県支部・新日本婦人の会宮城県本部・青年法律家協会宮城支部・仙台キリスト教連合・仙台市職員労働組合・仙台平和を求めるキリスト者の会・仙台靖国法案阻止キリスト者連絡会・全金本山労働組合・創価学会青年部宮城県憲法研究会・テロにも戦争にもNO!の会・東北工業大学教職員組合・東北大学学生キリスト教青年会・東北大学職員組合・東北放送労働組合・東北労働弁護団・日本科学者会議宮城支部・日本キリスト改革派教会・日本キリスト教団東北教区・日本山妙法寺・日本出版労働組合連合会仙台地域協議会・日本婦人有権者同盟仙台支部・日本放送労働組合東北支部・日本民主法律家協会東北支部・婦人民主クラブ全国協議会宮城支部・婦人民主クラブ宮城県協議会・平和をつくり出す宗教者ネット in みやぎ・宮城学院女子大学教員組合・宮城 革新統一をすすめる懇談会・宮城教育大学教職員組合・宮城県教職員組合・宮城県高等学校教職員組合・宮城県憲法を守る会・宮城県護憲平和センター・宮城県私立学校教職員組合連合・宮城県平和委員会・宮城憲法会議・宮城県歴史教育者協議会・宮城県労働組合総連合・宮城婦人問題連絡会・宮城歴史科学研究会・立正佼成会仙台教会（アイウエオ順）